

COVID-19に対するDMAT活動 2020年2月

2月7日（金）夜、「ダイヤモンド・プリンセス」クルーズ船内における乗客・乗員の救急診療と健康管理に関わる医療従事者の派遣要請が厚労省から当センターを含むDMAT指定医療機関にありました。

当センターの業務として、2月9日に4名のDMAT隊員が、当センターのDMAT車に多数のN95マスクを含むPPEを載せて横浜に向けて出発しました。

クルーズ船内では朝7時に乗船し23時過ぎに下船するという過酷な業務をこなしました。

第2隊1名は2月11日新幹線で現地入りし同様の活動を行い14日に帰阪しました。

第3隊1名は14日現地入りし17日に帰阪しました。第4隊3名は17日に現地入りし20日に帰阪しました。



熊本豪雨災害派遣 2020年7月7日

7月6日、熊本県より豪雨災害によるDMATの派遣が要請され、当センターより医師2名、看護師2名、業務調整員2名が熊本に向かいました。7月7日午後には到着し、7月9日まで活動しました。

我々は人吉・球磨医療圏医療調整本部に配属となり、指揮支援を行うことになりました。具体的な内容は、医療機関及び避難所の被害状況調査と支援、孤立集落対応、地域の保健所との調整、薬剤支援等多岐にわたっていました。また、参集した医療チームの管理及び医療ニーズの情報収集も行いました。医療チーム管理においては活動指示票を作成し、活動内容の明確化、LINEのアプリを用いて派遣隊との連絡や情報共有を行いました。さらに医療ニーズの情報収集として多種多様な情報をデータ化し、現状分析を行い次の活動に繋げました。当センターに残ったDMATも後方支援として派遣DMATと連携し、情報整理や表の作成等を行いました。人吉市内は球磨川の氾濫による被害が甚大であり、様々なニーズがありましたが、後方支援とも力を合わせることで、限られた人数・日数ではありましたが今後の継続的な支援にも繋がる活動ができたと思います。今回の経験を振り返り、今後の活動にも活かしたいと思います。



住吉区総合防災訓練 2020年11月14日

11月14日に住吉区で総合防災訓練が行われ、訓練運営スタッフとして藤見部長・西ロジ・吉田ロジ・塩屋ロジが参加しました。

訓練では、住吉区医師会・薬剤師会・歯科医師会・訪問看護ステーション・福祉避難所・災害時避難所に関する情報収集・集約・分析の本部活動に加え、感染症対策に必要な物品状況の調査を行いました。この情報収集に当センターが開発した「災害時クラウド型情報システム」が用いられており、住吉区では「iisumi」として活用されています。総評では、住吉区平澤区長よりICTを活用した情報支援が有効であり、今後も継続し取り組んでいくことが必要と話されていました。訓練に参加していた住吉区職員の方々は、起こりうる問題をどのように解決することができるか話し合い進められていました。今後も災害の備えについて、協力して行うことができればと思います。

